

令和4年度下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会
議事概要

日時：令和5年3月15日（水） 10:00～10:50

場所：三菱総合研究所4階大会議室A

（Microsoft Teams を用いたテレビ会議を併用）

議事概要

（事務局より、会議資料に基づいて説明後、報告書の取りまとめについて議論）

- 高齢化がさらに加速する中、介護職員の不足は喫緊かつ深刻な課題である。他方、民間企業にとっては技術開発のインセンティブになり得るので、技術開発を促す意味でも、これらの課題を報告書に追記いただきたい。
- 下水道網との親和性の観点では、処理装置の導入は介護施設のみならず、将来的に個別住宅への導入も想定されうるため、当然コストは問題ではあるが、今後の検討課題として報告書に明記いただきたい。
- 紙オムツゴミの増加は自治体としても大きな課題となっており、資源循環の観点でもリサイクルの重要性は増してきている。処理装置で処理した後の紙オムツは、汚物が取り除かれた状態であり、臭い等の観点でリサイクルのハードルを下げる可能性も考えられる。マイクロプラスチックの問題はあるものの、紙オムツリサイクルへの貢献可能性についても、今後の課題として報告書に記載すべきではないか。

（その他）

- 本日いただいた意見を報告書に反映し、令和4年度中を目途に国土交通省ホームページで公表する。

以上